

I Love 田 思いを

多久市が進めている多久駅周辺の中心市街場や駐車場を活用したイベントや駅周辺の独り占めする人たちの気持ち「I LOVE TAKU」が
今回は、そんな人たちの代表者に思いを語っ
について案内します。

市民に喜ばれる居場所を目指して

原口美穂さん（都通りを復活させる会代表）

都通りを復活させる会は、平成22年4月に砂原の都通りで飲食店を営む7店舗で結成しました。

を育てようという取り組みがあります。私たちも都通りを駅前と一体感のある通りにして、花と緑で安らぎのある、市民の方から喜ばれる場所を目指してがんばりたいと思います。

通りにあった広場をふれあい広場として整備し、夜は竹灯籠や絵提灯で飾り付けています。今年3月には、その広場で新鮮野菜や海産物などを並べた朝市を始めました。毎週火・木・土の週3回、9時から11時30分までの催しは好評で、出店も募集しています。現在進められている多久駅周辺のまちづくりでは、駅前から京町商店街へ、回遊空間



▲今泉眼科隣のふれあい広場で行っている朝市

6月12日、多久駅北駐車場の軽トラ市開催に至りました。当日は、雨だったものの大勢の人で賑わい、喜んでいただき本当によかったと思います。賑わいを取り戻すには、まずはまちを知ってもらう必要があります。そのためには駅前周辺に市民が楽しむ場を作り、人が集まるようなことをしなければなりません。「地元でやることは地元でやる」と、その気持ちが軽トラ市へとつながりました。



▶約400人の家族連れで賑わった軽トラ市。「米や卵のつかみ取り」にも行列ができ、盛況の初回でした

祭り好きな熱い曳き手募集中！
多久の夏を一緒に感動しよう

今澤隆紹さん（多久山笠若衆会取締役）

多久山笠若衆会は、8月15・16の両日行われる「多久山笠」の提灯山の曳き手として活躍する多久を愛する若者達です。この伝統行事を「若者でもつと盛り上げよう！」「駅前に賑わいを！」と三角提灯山の復活にあわせ、5年前に結成し、現在70人が所属しています。本番の迫力や美しさをみなさんに感動的に届けるため、毎年7月に入ると、貴重な山車の点検や組み立て練習の計画を組みます。メンバーには、市内に住んでいなくても出身者で多久や祭り好きな仲間も



▲かっこいい〜2台の提灯山。若衆会による組み立て競争や曳き回しは、豪快で勇壮です

多久駅周辺のまちづくりフォーラムのご案内

多久駅前の花と緑を通した街並みづくりについて、専門家を交えたフォーラムを開きます。みなさん、どうぞご参加ください。

- 日時 7月7日(木) 18時30分開会 ■会場 多久市商工会
- 講演 「まちなかを花と緑で彩る」 日本大学理工学部助教 山崎誠子さんまさこ
- パネルディスカッション 「花と緑が賑わいを生み出す」
パネラー…山崎誠子さん、南里幸子さん、原口美穂さん、横尾俊彦市長
コーディネーター…渡會清治さんわたらい

集まっていたいただき意見交換を重ねてきました。
今年度は、昨年度までの成果を踏まえて、生活に必要な機能の整備、花と緑を通した街並みづくりの推進、商業の活性化など、人々の居場所となるまちづくりを目指して事業を進めます。
そして、この『まちづくり10年構想』を、まち全体が魅力的な場所となるような形へと進めていきます。